



香川県教育センター 教育ライブラリーだより

第23号 令和7年2月19日

厳しい寒さが続いております。体調にお変わりないでしょうか。今年度も残すところ、あと2か月となりました。年度末・年度初めに向けて、今からできる準備をしておきましょう。教育ライブラリーには、たくさんの教育図書、研究紀要・論文、教育雑誌、視聴覚資料などがあります。新年度の計画等にぜひお役立てください。教育ライブラリーでは、閲覧はもちろん貸出もできます。基本的に土曜日も利用できます。開館予定日は当ホームページでご確認ください。

書籍紹介

①「あらゆることは 今起こる」

柴崎友香/著

(医学書院 2024年発行)

ADHD と呼ばれる脳の特性があると診断を受けた小説家の著者が、そのことを通じて自身がとらえたり考えたりしたことを書いた本です。描写が客観的でリアルなので、まるで著者の頭の中を実際に巡って、脳の反応の仕方を観察しているかのような感覚になります。昼間でも眠たくてしかたない、興味のあることだけ突然やり始めて過集中する、遅刻の常習、片づけられない、処方薬であるコンサータを服用した時の感じ方・・・今まで理解に苦しんだことが、著者の頭の中を観察させてもらう中で少し分かってきます。さらに、著者が生活するうえでどんなことに困り、どう対処しているかも綴っています。それらが ADHD と診断されたすべての人にあてはまるというわけではありませんが、受け止め方やサポートの仕方の参考になるのは確かです。

また、この本は「発達障害」という言葉を使うことの効力や弊害について、作品全体を通じて様々な表現で読者に問いかけてきます。言葉を生業とした著者だからこそ、言葉に対する鋭い感性や言葉に内在する問題点を語りきる表現力に驚かされます。そして、何より著者の研ぎ澄まされた人権感覚に、はっと目を覚まさせてもらえる一冊です。

②「今求められる学力と学びとは ―コンピテンシー・ベースのカリキュラムの光と影―」

石井英真/著

(日本標準 2015年発行)

「コンピテンシー・ベース」という言葉を最初に聞いたとき、「それ何？ またややこしい横文字が…」と思われた方も多かったと思いますが、今ではかなり定着してきました。知識・技能を偏重してきた傾向のあるこれまでの日本の教育が、将来にわたって学び続け、現実の問題を解決しようとする「資質・能力」の育成へと舵を切ろうとしています。その背景には経済界等からの社会的な要請も多分にありますが、本書の著者が「コンピテンシー・ベース」の教育に求めているものは、より本質的な人間の成長です。そのことについて、著者は次のように述べています。

「経済界や市民社会の要求を意識しつつも（中略）将来出会う社会の荒波の中で消費されつくされないための人間性の核、いわば『人間らしさを守るための鎧』を形成していく（中略）社会に適応し生き抜くだけでなく、その中で自分らしさを守り、生き方の幅を広げ、社会をよりよく生きていく力を育みたい」。目指しているのは、「知っている」レベルや「わかる」レベルの学力ではなく、「使える」レベルの学力であり、そのためには「教科を学ぶ (learn about a subject)」授業だけでなく、「教科する (do a subject)」授業が必要とのこと。それは「知識・技術が実生活で

生かされている場面や、その領域の専門家が知を探究する過程を追体験し、『教科の本質』をともに深め合う授業を創造する」ことでもある。コンピテンシー（資質・能力）の育成を重視した教育課程・学習活動について、その理論的な背景を知るために最適な一冊です。

雑誌紹介

雑誌名	号	特集等（抜粋）
国語教育 (明治図書)	2月号	【特集】もっと子供主体の授業にしたい 達人へのステップアップ ◇もっと子供を主体的にする「授業デザイン」 ◇もっと子供が主体的になる「授業テクニック」 ◇もっと子供の主体性を促す「指導アイデア」 ◇国語教師のための「自由進度学習」ガイド 【連載】◇「語感」を感じ取る語彙学習で「語感」を磨く ◇言語化する力を哲学する 「多様性」と「ことばにならない何か」
社会科教育 (明治図書)	2月号	【特集】デキル人はやっている！社会科教師の仕事術 ◇授業力を高める！社会科教師の仕事術 自分軸を大切に ◇効率と質を高める！社会科教師の時間術 時間を上手く使うコツ ◇社会科教師の ON/OFF 仕事術 ライフスタイルをこう変える ◇使えるアイテムフル活用！社会科教師の整理術 ◇教材開発力を高める工夫と習慣づくり 教材化の視点とフォーカス術 ◇おさえておきたい！社会科教師の ICT 活用術 ◇指導と評価を一体化！社会科教師のテスト作成&評価術 ◇社会科教師の仕事術 私のおすすめベスト3 ◇読んでおきたい！社会科教師の基本文献 私のオススメ基礎 BOOK
新しい算数研究 (東洋館出版社)	2月号	【特集】資質・能力の評価の充実を軸に捉え直す 子供が能力の成長を実感できる教師の指導と評価とは ◇教師が形成的評価をすることで成長する子供たち ◇子供一人ひとりの学習を促すための指導と評価はどうあるべきか ◇学びに向かう力、人間性等の指導と評価はどうあるべきか ◇子どもが自らの理解の状況を振り返る自己評価はどうあるべきか ◇個別最適な学びと協働的な学びの指導と評価はどうあるべきか ◇「知識及び技能」の個別的知識及び技能と概念的知識・方略の関係性の指導と評価 ◇教師の授業改善に効果的で、子どもの学習改善に資する評価はどうあるべきか ◇形成的評価と総括的評価の効果的な使い分けはどうあるべきか ◇数学的な見方・考え方を長いスパンと広いスパンで評価する
数学教育 (明治図書)	2月号	【特集】そこが知りたい！「主体的に学習に取り組む態度」の評価方法 ◇評価計画 単元のどこに、どんな「評価場面」を設定するのか 等 ◇課題・発問 「粘り強さ」や「自己調整」を発揮しやすい課題をどうつくるのか 等 ◇行動観察 「個人追究」の中で何を見取り、どう評価するのか 等 ◇振り返り 「本時の振り返り」で何を書かせ、どう評価するのか 等 ◇ルーブリック 「評価の視点」をどう設定するのか 等

		◇個への対応 「発言や記述が苦手な生徒」をどう見取り支援するのか 等 ◇ICT 「1人1台端末」をどう評価に生かすのか 等 ◇レポート 「粘り強さ」や「自己調整」をどのように見取るのか 等
理科の教育 (東洋館出版社)	2月号	【特集】子どもが問題を見いだすとき ◇子どもが問題を見いだす授業がなぜ必要なのか ◇子どもが問題を見いだす授業実践(小学校・中学校・高等学校) 【連載】◇教材研究一直線(日本で南十字星を撮影する②) ◇生徒をひきつける観察・実験(ヒキガエルの幼生の血流、血球の観察) ◇教材の隠し味(校庭の生物の観察「生物の声」～観察した生物になりきって自己紹介、生物ミュージアムの開催～) ◇「1人1台端末」を活用して、「身近な樹木」と向き合う主体的な学び ◇ダイバーシティ&インクルージョンを考える ◇概念構築を目指した探究型授業 ◇まさにエアコン! ゴム弾性の不思議
英語教育 (大修館書店)	2月号	【特集1】「文法用語」との上手な付き合い方 ◇文法用語: その効用と指導上の留意点 ◇入門期の生徒や英語に苦手意識のある生徒への文法事項の示し方 ◇文法用語と上手に付き合うための5 Tips 【特集2】これからの音声指導をデザインする ◇小・中・高を通じた音声指導の充実のために ◇小学校英語教育における音声指導 ◇音声に始まり音声に帰着する学習サイクルを作る 【特集3】3年目のESAT-J(東京都中学校英語スピーキングテスト) ◇中学校英語教育における総合学習システム(CLS)の構築を目指して ◇エビデンスに基づいたスピーキング試験の開発 ◇EST-Jが英語の教室にもたらす効果 【連載】◇はじめてみよう辞書指導 「辞書に親しむ」辞書指導 ◇教科書の内容を英語で深める CLIL 型英語授業 ◇小学校英語授業のアイデア Box 英語絵本で意見の組み立て方を考える ◇英語そもそも談話室 「Google 翻訳伝達会」対策会議 ◇AI との会話 広がる可能性と相変わらずの悩み ◇朝尾幸次郎の English Detective 「イパネマの娘」の謎 ◇ICT 活用の大ワザ・小ワザ ロイロノート編 ◇英文解釈演習室
道徳教育 (明治図書)	2月号	【特集】渾身の「命」の授業 Best Selection ◇「命」の多面性について考える ◇図解「生命の尊さ」の発展的指導とポイント ◇スペシャリストの渾身の「命」の授業 ◇おススメ教材×生命の尊さでつくる渾身の「命」の授業 ◇テーマ×生命の尊さでつくる渾身の「命」の授業 誕生 自然災害 いじめ 動植物 食育 国際理解 等 ◇まだまだある「命」のおすすめ教材集 ◇私が考える「生命の尊さ」 ◇自著紹介『退屈な道徳にさよなら』『道徳授業者のための教養』

授業力 & 学級経営 力 (明治図書) 2月号	【特集】保護者を味方につける学級経営戦略 ◇参加の余白のある学級のつくり方 ◇保護者との関係づくり基礎・基本 ◇保護者の心が離れてしまう先生の NG 習慣 ◇保護者との関係づくりがうまい先生が実は使っている心理術 ◇不登校傾向・登校しぶりの子の保護者サポート ◇外国にルーツがある保護者とのコミュニケーション4つのポイント ◇保護者と協力して「スマホ・SNSトラブル」を回避する ◇学びにくさのある子の保護者が安心できる学級経営5つのポイント ◇ほんの少しで保護者の印象が変わる！気が利く先生のひとこと集 ◇〔精神科医に聞く〕理不尽なクレームが届いたときの自分の心の守り方 ◇〔家族支援学をヒントに〕保護者「対応」をやめて「対等で親しい関係」を築く
生徒指導 (学事出版) 2月号	【特集】「問題行動・不登校」の現在地 ◇「令和5年度 問題行動・不登校調査」が投げかけるもの ◇いじめの現状とこれからの対策 ◇不登校の背景と今後の支援 ◇「暴力行為」の調査結果から見えてくること ◇子どもの命を守る教師の役割と支援のカタチ ◇〈アンケート〉「問題行動・不登校」、学校現場の実感は？ 【連載】◇『人が幸せになるための健康教育』としての性教育 ◇学校でも家庭でもない、ゆるやかな子どもの居場所（サードプレイス） ◇学びのための校則改正 校則見直しにおける保護者参加 ◇ほめ育メソッド×生徒指導 自己肯定感を育む「陰ほめ」
教職研修 (教育開発研究所) 2月号	【巻頭インタビュー】差別のない社会を学校から 【特集1】いじめ重大事態で求められる対応、その理想と現実と限界 ◇まずここから「重大事態ガイドライン」改訂の要所 ◇円滑ないじめ調査へ、聴き方・記録化の課題とポイント ◇「第三者委員会」への期待と課題 ◇「加害者」に現実問題どこまで対応できるのか 【特集2】なぜ、あの保護者はクレーマーとなったのか？ ◇〔保護者アンケート〕「私はこれで学校にモヤモヤしました」 ◇「学校が保護者にどう見えているのか」そこから始めよう ◇公立学校とカスハラ 【学校づくり】◇「令和の日本型学校教育」が問う学校経営 ◇私たちの働き方改革 ◇副校長・教頭のワクワク学校づくり 私たちの役割とは 【管理職のすがた】◇みんなの「権利」を大切にする学校 ◇校長のネットワーク力 ◇教頭のまなざし 【教育行政】◇地方から始まる学びの変革 ◇講座 教育行政入門 【教育課程】◇ウェルビーイングを実現する資質・能力 次期学習指導要領の足固め ◇授業の味方・管理職の見方 ◇教育×デジタル新潮流 【教育法規】◇過労による精神疾患と管理責任

初等教育資料 (東洋館出版社)	2月号	【令和7年度 年頭の所感】文部科学大臣 あべ俊子 【巻頭言】新たな時代の教育政策を支える使命/池田貴城 【特集1】言語活動の充実を通じた授業の改善 【特集2】[図画工作] 発想や構想に関する指導の充実 【連載】◇自然とつながるよろこび/春山慶彦((株)ヤママップ代表取締役) ◇自分らしく、幸せに生きていくことを目指した図画工作科の学習 ◇遠隔合同授業で子供と教師のウェルビーイングの実現を目指す ◇知的障害特別支援学級における言語活動の充実を通じた授業の改善 ◇幼保小の架け橋プログラムの推進 【教育資料】中央教育審議会諮問「初等中等教育における教育課程の基準等の在り方について」
中等教育資料 (学事出版)	2月号	【特集】各教科等の特質に応じた体験活動の重要性 ◇体験活動の充実に向けて/田村学 ◇子供の育ちや学びになぜ自然体験活動が必要なのか ◇テクノロジーと体験はトレードオフか ◇各教科等に関連付けた体験活動の推進 【連載】◇GIGA スクール環境と1人1台端末を活用した授業と生活のDXと未来共創 島根県立津和野高校 ◇学びのスタイルを大きく変える「JyokaStyle」 大分県立情報科学高校 【産業教育のページ】専門高校等の生徒による学習成果発表の祭典 さんフェアとちぎ2024
学習情報研究 (学習情報研究センター)	2月号	【特集1】児童生徒1人1台端末(研修) 【特集2】メディア・リテラシー(含む生成AI) 【企画特集】デジタル英語教科書・教材 【報告】未来の学習コンテンツ EXPO2024
実践みんなの特別 支援教育 (Gakken)	2月号	【特集】教科等の目標や内容を踏まえたプログラミング教育 ◇知的障害のある児童生徒のプログラミング教育のねらいや在り方 ◇知的障害特別支援学校においてプログラミング的思考を育むうえでの五つの指標 ◇プログラミング教育に込められた三つのねらいを意識した取り組み 【連載】◇学びにくさのある子への算数支援 デジタル教材も自作できる ◇離職率0を実現 放デイで企業と取り組むキャリア教育 ◇教師のお悩み相談所 幼稚園で作る個別の指導計画の留意点とは？ ◇特別支援教育コーディネーターのオシゴト 次世代特コの育成 ◇目の前の将来を支える高校通級 「なりたい自分」を目指した卒業生 ◇知っておきたい境界知能 早期発見・早期支援 ◇子どもの行動の理由「みたてラボ」 ◇給食を楽しめる場所にする偏食サポート ◇地域企業と連携した企業参画型の作業学習
特別支援教育研究 (東洋館出版社)	2月号	【特集1】自閉スペクトラム症支援の最前線 ◇自閉スペクトラム症の理解 ◇神経発達症の早期発見・早期支援の行方 ◇活動を通して高めた「自信」をもとに「発信」へ ◇自閉スペクトラム症の人たちへのキャリア発達支援の動向

		◇強度行動障害支援の現状と今後の支援体制整備に向けて 【特集2】変化する社会の中で自分らしさを生かし生き生きと輝く子どもたち ～教育的ニーズに基づいた一人一人の育ちを求めて～ 【連載】 ◇今こそ知りたい特別支援教育の基礎知識「なるほど！」認知発達 ◇やりがいと手ごたえのある学校生活を生み出す「できる状況づくり」 ◇ユニバーサルデザインの視点を活かす！通常の学級における個別最適な学びと協働的な学び ◇通級指導担当者からの発信 自立活動 ホップ・ステップ・ジャンプ！ ◇特別支援学級の授業づくり UPDATE 日々の授業に「ちょこっと ICT」 ◇地域との対話による作業学習の創造 広島県立広島特別支援学校
学校図書館 (全国学校図書館 推進協議会)	1月号	【特集】情報活用の授業実践を広げるために I ◇資料・情報の活用はなぜ必要か 情報活用授業コンクールの目指すもの ◇「第4回情報活用授業コンクール」受賞校の授業実践 【連載】◇教育時評 はがき新聞のすすめ/森永卓郎 ◇役に立つ！Book Guide 『作ろう！わくわく図書館だより』 『冒険の書：AI時代のアンラーニング』 ◇生徒に本への興味を持ってもらうための取組み 読書センターとして ◇ココロに届く読み聞かせ 『手袋を買いに』を読んでみる
高校教育 (学事出版)	2月号	【特集】「教育へのリスペクト」を取り戻す ◇「教育へのリスペクト」とは ◇教職員は今、どれくらい、何にストレスを抱えているのか ◇若手はどうすればイキイキと働けるのか ◇これ以上の非正規教員の増加は食い止めるべき 【巻頭インタビュー】今考えたい、国際理解と国際情勢（上） 【特別企画】これからの学校図書館とバリアフリー 【連載】◇「ミライ創造工学科」を新設 新潟県立新潟工業高校 ◇アクティブティーチャーの挑戦 小論文ライティングで国語教育改革 ◇高校教育のアキレス腱 労働時間と教員の誠意 ◇教育と法 いじめ懲戒処分、なぜ教師は追い込まれたのか
道徳と特別活動 (文溪堂)	2月号	【特集1】役割別・新年度準備と授業改善につながる年度末カレンダー 【特集2】あたたかな心と豊かな人間関係をはぐくむ道徳・特別活動 ◇教師の明確な意図に基づく道徳科の授業構想 ◇互いのよさや可能性を発揮し、楽しく豊かな学級・学校生活をつくる特別活動 【連載】◇異年齢集団活動の意義と課題 ◇チェックアップ！道徳教育と道徳科の基本と最新動向 道徳科の指導をより充実させる多様な指導方法とその工夫 ◇実践を振り返って考える「現代的な課題を取り扱うときに大切なこと」
学校事務 (学事出版)	2月号	【特集】どうなる？ どうする？ 研究会活動 ◇研究会活動が学校事務の未来を創造する ◇大人のための主体的・対話的で深い学び！ ◇香川県協会における学校事務職員研修について／加地浩幸（多度津高）

		【連載】◇語ろう！学校財務 医療的ケアに必要な予算を要望せよ ◇特別支援学校の事務室から 共同学校事務組織の構造を考える ◇校長会・教頭会と連携した業務改善 システムを有効活用した役割分担 ◇気になる教育トピック 中教審答申の解説（４）「担任手当」
指導と評価 (日本教育評価研 究会)	2月号	【特集１】教科担任制 【特集２】「食べる」を考える 【連載】◇目標標準評価を教育に生かすー理科のまとめ ◇生徒との対話を通して個別最適な学びをめざす 書く力を中核とした授業改善ー「書く力」と「発話行為」 ◇カリキュラム・マネジメント推進における校長のリーダーシップ カリマネが新校長の学校づくりを助ける ◇宿題と家庭学習ー小学校における宿題と成績の関連から指導と評価を考える ◇「ほめる」を考えるー「ほめ」が機能するために大切なこと ◇コーチングに学ぶ「対話力」ーリフレクションを支援する質問